



# さとく

井原市立井原中学校通信  
第3号  
令和3年3月8日  
文責：川上 吉弘

## 【本年度の取組の評価（学校評価）について】

本年度の取組を振り返り、次年度へ向けての計画を立てています。その中から昨年12月に実施した井原中学校教育アンケートの中から何点かを紹介しします。また、学校評議員の方からいただいたご意見の一部を載せています。これらをもとに次年度の取組の充実に生かしていきたいと思っています。支えてくださった多くの方々に心から感謝申し上げます。

### ＜学校経営の重点の取組から＞

#### ◇学ぶ価値を実感する授業づくり

- ・学びの基礎となる学級集団作りを大切にしていますが、コロナ禍による休校のため集団作りの取り組みが大幅に遅れることとなりました。しかし、2学期以降はいろいろな制約の中でも機会を捉えて集団作りの取り組みを行うことができました。
- ・学ぶ価値を実感させ、学びに向かう力を育成するために授業におけるふり返りの工夫と充実に取り組みました。全ての教員が意識して取り組むことで授業改善に繋がり、授業がわかりやすく楽しいという生徒が増加しました。
- ・家庭学習の時間が短いことから、自主学习ノートとして作成した「城山ノート」を活用しました。家庭学習時間の増加が見られました。
- ・放課後学習サポート事業として、英語、数学の補充学習を計画的に行うことができました。（58回、延べ361人参加）

#### ◇「ふるさと井原の未来をつくるひとづくり事業」の推進

- ・ワーク&ライフ交流会を設定し、積極的に外部組織と関わることで、働く人の思いに触れさせ、感じさせることで勤労観・職業観の育成に繋がりました。
- ・全ての学年において取り組みを進め、1年生の「るるぶる」や3年生の尾道研修など、それぞれに特徴のある有効な活動を行うことができました。なかでも2年生のミナクルネの取り組みは「おかやま学びたい賞」の優秀賞を受賞しました。

#### ◇心の教育の推進と生徒指導の徹底

- ・「中学校へ行くのが楽しい」について肯定的な回答が87.0%であり、直近の4年間では最も高い結果でした。多くの生徒にとって、学校が過ごしやすく安心できる場所となってきているようです。
- ・生徒の心に寄り添う指導を心がけてきましたが、長期欠席生徒数の大幅な減少には至っていません。
- ・全校集会を中心として生徒会各種委員会が意欲的に活動しました。これらの活動を通して生徒の自治的な活動が高まりました。

#### ◇落ち着いた環境づくりと美しい校舎の維持と工夫

- ・秋まで工事は続きましたが、生徒は落ち着いて、指示やルールを守って行動できました。校舎をきれいに使おうという意識は高く、生徒のアンケートでは自分は清掃や当番の仕事をがんばっていると肯定的に回答した生徒が過去4年間で最も高い89.1%でした。
- ・交通ルールを守っていることについて肯定的な回答が過去4年間で最も高く95.1%でありました。しかし、市民の方から苦情を受けることもあり、継続したより効果的な指導が必要と考えてい

ます。

### <生徒のアンケート結果から>

「自分は、授業に本気で取り組んでいる。」については85.1%であり、4年間で最も高くなっています。多くの生徒が授業にまじめに取り組もうという意識でいることがわかります。「自分は部活動がんばっている。」については、85.1%であり、昨年の81.7%より高くなっています。「自分はあいさつができています。」については86.6%の生徒ができていますと答えています。

### <保護者のアンケート結果から>

「教職員は、生徒のまちがった言動に対してきちんと指導していると、お子さんは言っている。」については、肯定的な回答が78.3%となっています。「教職員は、生徒の能力や努力を適切・公平に評価していると、お子さんは言っている。」については75.4%でありました。教職員が共通理解を図りながら、生徒にしっかり向き合って指導していこうとしている成果であると感じています。

「お子さんは、授業がわかりやすく楽しいと言っている。」については、66.4%が肯定的な回答となっています。生徒アンケートの同様の質問では77.3%であり、いずれも4年間で最も高い結果でした。「お子さんは部活動を熱心に行っている。(部活動加入者)」では86.0%が「よく当てはまる」「やや当てはまる」と回答されました。

### <学校評議員会から>

- ・授業がわかりやすく楽しいと回答した生徒が増えているのは良いことだが、学年を見ると1年生に授業がわかりにくいと感じている生徒が多いのが気になる。気を付けて対応してほしい。
- ・ふるさと井原の未来をつくるひとつづくり事業では、意欲が高まり工夫した取り組みとなっている。生徒の参加の様子も良かった。生徒の自信につながったと思う。地域は今後さらに生徒の活躍の場を提供する必要がある。
- ・体育会を無観客で実施し、井原放送で見させていただいたが、保護者を時間で区切って入れ替えたり、校舎のベランダから見るようにしたりなど、工夫ができるのではないかな。
- ・コロナ禍の中、全体的に悪い傾向になることを予想したが伸びている点が多い。先生方の工夫と努力に感謝したい。
- ・生徒の声を聞く会は特徴的で大変評価の高い会であるので大切にしてほしい。学校評価のアンケートでは保護者の見方と生徒の見方にズレがあるところがあるが、家庭内の会話を大切にすることがズレの解消にもつながる。PTAとして積極的に、親が子どもと話をする時間を大切にすよう呼びかけてほしい。

### <来年度重点>

- ・授業でのICT機器の活用を推進していきます。
- ・欠席がちな生徒の居場所を確保しつつ、より一層きめ細やかな対応ができるよう対策を進めていきます。

### 【3年生のみなさんへ】

いよいよ卒業です。夢をつかもう！ 今後のさらなる飛躍を心から祈っています。



<3月4日 保護司あいさつ運動>